



TITLE:

編集後記 (泌尿器科紀要 第13巻第  
6号)

AUTHOR(S):

---

CITATION:

編集後記 (泌尿器科紀要 第13巻第6号). 泌尿器科紀要 1967, 13(6): 504-504

ISSUE DATE:

1967-06

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/113150>

RIGHT:

## 編 集 後 記

過日6月初旬広島の日小小児外科学会に出席した。泌尿器部門での出題は広大、九大、久大、京都府立、東京医科歯科大の5大学に過ぎず、そのほとんどは外科系で、先天異常（水腎）、尿管腫瘍、腎変位、ウイルス腫瘍、神経芽細胞腫等が報告され、次ぎの後腹膜腫瘍部門では京都府立外科の19例、大市大外科の16例、岩手大外科の神経芽細胞腫2例（主にカテコールアミン値について）、名市大外科の交感系腫瘍15例、慶大外科のガングリオノイローム1例、阪大泌尿器科の褐色細胞腫等で、一般腹部腫瘍部門では千大外科のウイルス腫8例、千大小児科のウイルス腫15例、弘大外科のウイルス腫5例等で、主にウイルス腫、神経芽細胞腫を中心に診断と治療特に手術について慎重に論ぜられた。小児腹部腫瘍はわれわれ泌尿器科にとって重要課題であるが、主に外科方面より多数症例が報告されている現状は如何ともしがたい。泌尿器科関係者はもっと小児科と連繫をとって積極的にこの分野に進出奮起すべきことが痛感された。

さて本月号の随筆には婦人科の山田先生を煩わした。貴重な懐古談で後輩の傾聴すべき点が少ない。なお最近の治験例の論文が山積したため本月号にこれらを一括掲載することとした。

日本泌尿器科学会雑誌、皮と泌は勿論のこと、臨床泌尿器科が早くも6号を迎え、内容も充実して編集同人も張りきっておられる。本誌も逐次頑張って遅れをとらぬよう努力をしたいと思う。（昭和42年6月）

## 購 読 要 項

1. 発行は毎月（年12回）とし、年間購読者を以て会員とする。
2. 会員は年間予約購読料金 1,500円を前納する。1冊料金 150円。払込みは振替口座番号 京都4772番 泌尿器科紀要編集部、或は第一銀行百万遍支店宛。
3. 入会申込みは氏名（フリガナ）、住所（雑誌郵送先）、勤務先、職地位、自宅開業の別、送金方法を御記入の上編集部宛。

## 投 稿 内 規

1. 原稿の種類は綜説、原著、臨床報告、その他。寄稿者は会員に限る。
2. 原稿の長さは制限しないが簡潔にする。
3. 原稿は横書き、当用難字、平仮名、新仮名使いを用い、片仮名には括弧を要しない。400字詰原稿用紙を用いること。附表、附図はなるべく欧文にすること。
4. 文献の書式は次の如くする。著者名：誌名、巻数：頁数、年次。  
例. 1) 中野：泌尿紀要、1：110、昭和30。 2) Lazarus, J. A. : J. Urol., 45 : 527, 1941.
5. 欧文抄録を記し、之には欧文の標題、所属機関名、ローマ字著者名を付け、なるべくタイプライターを用いること。希望の場合は当編集部にて翻訳す法。抄録用の原稿を送ること。翻訳の実費は申受ける。
6. 掲載料の著者負担は4頁迄毎頁 600円、それ以上の頁、アート頁、図表、写真、欧文組版等は実費を申受ける。別冊20部を無料贈呈、それ以上は実費を徴収する。予め希望部数を申込むこと。特別掲載も考慮する。
7. 校正は初校のみ著者校正とし、再校以降は編集部が行う。
8. 原稿送り先は京都市左京区聖護院 京都大学病院 泌尿器科紀要編集部宛、書留便。

泌尿器科紀要 第13巻 第6号

定価150円

昭和42年6月25日 印刷

昭和42年6月30日 発行

顧 問 稲 田 務

編集発行人 加 藤 篤 二

発 行 所 泌尿器科紀要編集部

京都市左京区聖護院川原町53

京都大学医学部泌尿器科学教室

電 話 ⑧ 8111 学 内 5806

印 刷 所 山代印刷株式会社

京都市上京区寺之内通小川西入